

TDAPIII の機能変更 (Ver3.07.01→Ver3.08.01)

平成 28 年 6 月
株式会社アーク情報システム TDAPIII 担当

バッチ版 TDAPIII

種類	機能概要
材料非線形特性	1) オイルダンパー非線形モデルの追加 ・ 材料非線形番号；タイプ 194 ・ 適用要素； DAMPER, DAMPER1 2) 等方硬化と移動硬化を考慮したバイリニア型非線形モデルの追加 ・ 材料非線形番号；タイプ 429 ・ 適用要素； SPRING, SPRING1, FIBER2D, FIBER3D 3) 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承モデル（修正 HD モデル）の機能追加 ・ 材料非線形番号；タイプ 428 ・ 非線形パラメータとして除荷剛性が指定できるようになりました。
荷重	1) 波形データ点数の上限削除 ・ 波形定義データ (WAVE1, WAVE2) で入力する波形データのデータ点数の上限を削除しました。モジュールサイズ（使用可能なワークエリア）の範囲内で継続時間の長い解析が可能になりました。
出力	1) 応答スペクトル計算点数の拡張 ・ 応答スペクトルの計算点数の上限を 200 から 1000 に拡張しました。
その他	1) 不つり合い力の統計情報の出力 ・ 不つり合い力の平衡計算結果（収束／非収束ステップ数, 反復回数（最大・平均）, 不つり合い力（最大・平均））をリストに出力します。 2) 計算速度の向上 ・ 反復法ソルバー（ICCG 法）のアルゴリズムを見直し、計算速度を向上させました。

バッチ版 FDAPIII

種類	機能概要
荷重	1) 波形データ点数の上限削除 ・ 波形定義データ (WAVE1, WAVE2) で入力する波形データのデータ点数の上限を削除しました。モジュールサイズ（使用可能なワークエリア）の範囲内で継続時間の長い解析が可能になりました。
出力	1) 応答スペクトル計算点数の拡張 ・ 応答スペクトルの計算点数の上限を 200 から 1000 に拡張しました。
その他	1) インテル®数値演算ライブラリ MKL の導入 (SOLVER) ・ 今までのソルバーに加えて、MKL スパースソルバー（マルチコア対応）が使用可能になりました。 2) 計算速度の向上 ・ 反復法ソルバー（ICCOG 法）のアルゴリズムを見直し、計算速度を向上させました。

Windows 版 TDAPIII

種類	機能概要
構造入力	1) 等方硬化と移動硬化を考慮したバイリニア型非線形モデルの追加 <ul style="list-style-type: none">・ 非線形モデル名；等方硬化と移動硬化を考慮したバイリニア型非線形モデル・ タイプ番号；429・ 適用要素；バネ要素，指向性並進バネ要素，ファイバー系要素

ArkTools

種類	機能概要
ビジュアル構造入力	1) 部材座標系のラベル表示 <ul style="list-style-type: none">・ 部材座標系表示の際、ラベル (X_c, Y_c, Z_c) が表示できるようになりました。
ArkPlotView	1) 印刷時のデフォルトファイル名の変更 <ul style="list-style-type: none">・ PDF ファイル等へ出力する際のデフォルトファイル名を"ARKPLOTVIEW"からプロットファイルのファイル名に変更しました。
Translator for Femap®	1) Post Translator for Femap®の機能追加 <ul style="list-style-type: none">・ 3次元側方境界要素 (SBOUND3D) の変換に対応しました。